

「主と教会に仕える」ために



副学院長 藤原 導夫

代の増田誉雄学院長が天に召されましたが、その後は世良田湧侍学院長に引き継がれ、そのリーダーシップのもとで現在にまで至っています。

お茶の水聖書学院は「主と教会に仕える」信徒の方々が育成されるためにお役に立ちたいと祈り願っています。1991年の創立以来、この目標を目指して取り組んでまいりました。2年前には初

今年の3月3日（土）には第一九回卒業式が行われ、聖書科6名、音楽科1名の方々がOBIから巣立って行かれました。振り返ってみれば、開院以来これまで

Ochanomizu Bible Institute

OBI

お茶の水聖書学院

NEWS



〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCCビル 2F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
e-mail office@obi-net.com
Web http://www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会

に186名の方々が卒業されました。卒業生の多くはOBIでの学びを活かしながら、それぞれの教会で信徒として忠実に歩んでおられます。なかには牧師、伝道師、宣教師となられた方々もおられます。卒業された方の多くは「同窓会」に加わり、OBIで与えられた交わりを新たなかたちで続けておられます。

OBIは卒業してからさらに学びを続けることが可能であり、「研究科」に参加して共同研究に取り組んだり、卒業までには取れなかったクラスを受講するため、改めて通ってこられる方々もおられます。

4月2日（月）には入学式が行われ、聖書科本科2名、専修科2名、聴講6名、教会音楽科2名、通信科3名の方々が新しく加わりました。新年度のカリキュラムの中から二つほど紹介させていただきます。

「聖書の世界」（通年）は聖書地理に造詣の深い飯島勅先生が担当されます。このクラスの魅力

は、OBIの教室で学ぶのみならず、その後に、そこで学んだ聖書の世界に直接研修旅行するというオプションが付いているということです。具体的な旅行先はまだ確定してはおりませんが、イスラエル、小アジア方面が検討されています。定員に限りはありますが、学院生以外の方でも参加可能ですので、興味のある方はお問い合わせください。

「あかし文章講座」（前期）は文章の書き方を初歩から学ぶことのできる、三浦喜代子先生による講座です。かつてこのクラスで学び、自叙伝を出された方、『百万人の福音』で「ペン・ライト賞」を受けられた方などもおられます。

入学式は終わりましたが、「ビジター」あるいは「聴講生」という形で、クラスによっては途中から受講可能な道も開かれていますので、関心のある方は遠慮なくお問い合わせくださいますようお願いいたします。

卒業生のことば

●聖書科卒業 石井 由紀

神様の導きでOBIに入學し、経験豊かな先生方や敬虔な兄弟姉妹に出会い、感謝と感動と感激の3年間でした。聖書の学びを通して、何も知らないということを知り、身を小さくされる思いで卒業を迎えました。今後も学びを続けながら、神様と教会に仕えていきたいと思ひます。どうかお祈りをよろしくお願いいたします。

●聖書科卒業 シムス 由季子

2012年3月、先生方のご配慮によりOBIを卒業することができました。2010年の12月に家族を失うという試練がありました。非常に困難な状況の中、守り導いてくださった主に感謝しています。またOBIの先生方に心から感謝いたします。私が卒業することができたのは、ただ主の慈しみと真実のゆえです。これから

第二十九回 卒業式



精一杯、主に仕えてまいります。

●聖書科卒業 山本しづか

OBIに入學して、恵まれた学びの時を過ごせたのは、創設以来OBIを支えてくださった多くの皆様の祈りとご労のお蔭と感謝しています。信徒訓練に情熱を注ぐ諸先生から聖書の深みに導かれ、主を知る喜びに心燃やされる感動の六年でした。この感激を忘れず、神様と教会と地域に仕えていく思

いを新たにしています。

●聖書科卒業 田畑 勝敏

卒業は、私にとっては喜びと感激に溢れたものでした。特に所属教会で牧師や皆さんが拍手で祝って下さった時に、OBIで学ぶことができた事に心から感謝しました。在学中は先生方が親身になってご指導をしてくださり、日々の学習や卒論で神の御心に触れることができました。これからは、学んだ事を実践に生かしたいと強く思っています。

●聖書科卒業 新井 由美

教会学校の先生等をさせて頂いている中で、もっと聖書を学びたいと祈るようになっていきました。ある出来事を通して、この学院のことを教えて頂き、祈り始め、入學に導かれました。どの学びも、一つ一つ新しいことに目が開かれ、良い学びをさせていただき、今、この学院に導かれたことを心から感謝しております。

●聖書科卒業 倉内 一壽

OBIでの学びは多くの先生方や、学院生との交わりも与えられ、本当に楽しく有意義なものでした。私にとって忘れられない思い出は、妻が末期の胃ガンであることがわかり、挫折しそうになったとき、皆様が心をこめて祈って下さり、寄せ書きをして下り、励まして下さったことでした。主にある愛の交わりのすばらしさを実感でき、心から感謝いたしております。

●教会音楽科卒業 石井 江理子

教会で奏樂の奉仕をしていた時「どうして聖歌隊が必要なの?」と聞かれたことをきっかけに「奏樂の奉仕について学びたい」と門を叩きました。「先生方は皆一流」と伺っていましたが、その通りでした! 忍耐強くご指導を下さる学んだ事は「一番大切なのは愛」。受付の方、OBI事務局の皆さんにもお世話になりました。感謝します!

新入生のことば

2012年度新入生は、本科2名、専修科2名、聴講6名、通信科3名、教会音楽科2名、計15名です。所属は、日本福音キリスト教会連合、カンバーランド長老キリスト教会、日本福音自由教会協議会、EC教団、日本同盟基督教団、日本バプテスト教会連合、日本ナザレン教団、保守バプテスト同盟、聖イエス教会、日本フリーメソジスト教団、以上10団体です。

●聖書科本科入学 奥津 榮子
祈り備えてきた入学が許され、4月2日に入学式に出席した。本科、専修科、聴講、音楽科、通信科、15名の方々と学びを始める。前奏が流れ、讃美歌164番を賛美し始めた時、心が引き締まる思いがして、お茶の水聖書学院に入学出来た事を感謝した。

音楽科講師、植木朋子先生の「う

るわしきかな 主の住まい」特別賛美に聴き入り、みことばが賛美となり、神の御前に賛美をお捧げる先生の姿勢に涙が流れて仕方なかった。受難週の人に恵みを頂いた。

副学院長 藤原導夫師の「当学院は祈っていました」と挨拶された時、私達はお茶の水聖書学院の先生方から、教会の牧師や、教会の兄弟姉妹から祈られていた事を実感した。そしてイタリヤの田舎のマリオとアンセルモの話を通して、謙遜であるように、謙遜に祈る事を教えられた。

学院長 世良田湧侍師の、マルコ13章28〜37より、今受難週を迎えているが、イエス様が何時来ても良いように気をつけて目を覚ましていなさい。イエスから与えられた働きに責任を持って、賜物を用いて使命を果たしなさい、と言うメッセージを頂いた。

教会の牧師からも、入学に際し、主の前に謙遜である事、真実に熱心に学んで欲しいと励ましとお奨

めを頂いた。この入学式のすべてと重なり、主が共にいて下さり導いて下さるので、主の前にへりくだり、学びを全うして、神を知らない方々に、私は神からこの様に新しく変えられたのだと、証しして行きたい。

●本科編入学 宮内 芳枝
学院で学び始めた時は四十代で、昼間に仕事を持っており、夜の授業に出席していました。2年程通いましたが、仕事や家事との両立はなかなか難しく、学びはそのまま続けられずにおりました。

しばらくして、学院の事務局の手伝いの仕事のお話をいただきました。そして7年間、事務局で働かせていただきました。仕事の後に、授業にも出席することができ、本当に感謝でした。このように恵まれた環境に私を置いてくださり、私はどのようにこの感謝の思いを表したらいいのだろうか？と、いつも思っていました。

二人の孫の世話のため、昨年事

務局でのお仕事にピリオドを打たせていただきましたが、この間多くの方の聖書を学ぶ姿勢を見せていただき、2012年度からは気持ち新たに、私も学びに力を入れたと思います。この学院での学びを通して主にはげまされ、いつそう主と教会に仕えていきたいなと思っています。主に招かれた学びが主の御心にかなう学びとなりますように、祈りつつ歩みたいと思います。

第二〇回 入学式



学窓トピック

聖書科・音楽科

●第19回卒業式実施

3月3日(土) 午後2時より
OCC8Fチャペルにて、お茶の水聖書学院第19回卒業式を実施いたしました。50名の方々が出席し、お祝いの一時となりました。2頁に卒業生のことばを掲載しています。働きの祝福を覚えて続けてお祈りくださるようお願いいたします。

●第20回入学式実施

4月2日(月) 午後6時半より、OCC416号室にて、第20回入学式を実施いたしました。35名出席。入学生のことばは、3頁に掲載しています。他、専修科生、聴講生のこれからの学びの祝福のために覚えてお祈りください。

●教会福音讃美歌セミナー

OBI主催、福音讃美歌協会のこのことは社後援にて、6月9日(土)、7月21日(土) 午前

10時半～午後3時半の各日程で教会福音讃美歌セミナーを開催予定です。講師は中山信児師、植木紀夫師です。詳しくは事務局までお問い合わせください。案内をお送りします。

●サマースクーリング

今年もサマースクーリングを7月3日(火)～5日(木)の日程で実施いたします。詳しくは下段の案内をご覧ください。

【一般音楽科よりお知らせ】

「神の栄光」を賛美することですー声楽コースは、高く、広く、願わくば深みを求めつつ学び、発表しつつその務めを果たしてまいります。数えて第8回になりますオルガンコースとのサマースクーリングは会場を近隣の教会に移します。ぜひ発表コンサートにお出かけください。7月12日(木) 13時30分、会場は未定です。

2012年度 第17回 OBI サマースクーリング案内

日時：2012年7月3日(火)～5日(木)2泊3日

講師：黒木安信師

主題：「恵みと知識において、成長する」

- 聖書講義Ⅰ 「試練は姿を変えた祝福」～アブラハムの生涯から～
- 聖書講義Ⅱ 「井戸を深く掘るとは」～イサクの生涯から～
- 聖書講義Ⅲ 「自己変革と和解」(1)～ヤコブの生涯から～
- 聖書講義Ⅳ 「自己変革と和解」(2)～ヤコブの生涯から～
- 聖書講義Ⅴ 「摂理の神は愛の神」～ヨセフの生涯から～

会場：独立行政法人国立女性会館(ヌエック)
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地
(池袋駅から東武東上線下り急行で約60分)

費用：23,000円(1泊参加者は13,000円)

●黒木安信師プロフィール

1935(昭和10)年、宮崎県生まれ。東京聖書学校卒業。青山学院大学大学院修了(旧約聖書神学専攻・神学修士)。三つの教会(日本基督教団更生教会・東調布教会・鶴方教会)で伝道師、牧師として13年間奉仕。1973(昭和48)年4月より、ウェスレアン・ホーリネス教団浅草橋教会牧師。同神学院院長・教授。

国蝶オオムラサキ
の森・蝶の里公園
もお近くです。↓



クラス報告

『聖書の知恵に聴く』

担当 中島 總一郎

11年度は「聖書の知恵に聴く」が主題でした。副題に「新約メッセーシの探求」とあるように、新約聖書の主要メッセーシを各回で取り上げ、最初の15分を受講生の皆様の一人にショート・メッセーシとして発表していただきました。その後、その後に聖書記述内容を霊的に深く掘り下げての講義をし、質疑応答としました。

取り上げたテーマは、例えば「主の八福」とか「二様の建築者」「許して待つ一心の父」「九満たして一つ足りない」「愛の十一要素」などで、心が貧しいとはどういうことか、青年に足りなかった一つとは何か、忍と耐はどういうことでどんな違いがあるのかなどを深く学び、説教作成時の基底資料としたり、自分の人生を確立するための指針とすることを目的としました。

12年度（後期）は、主題を「キ

リスト教信仰の基礎知識」とし、同題の拙著をテキストとして使用します。テキストの特徴は、理解を助けるために主要内容を図解してあることで「内容が抱負で、図だけでも後々まで残るだろう」と評して下さった方があります。また既に受講された方で「教会奉仕に図表を使わせてもらって、解りやすいと喜ばれている」という方もあります。講座内容は「信仰の必須知識」、「一般活動と信仰活動の違い」、「科学と信仰の関係」、「キリスト教信仰の本質」、「聖化とは」などです。一般の既得知識と信仰的な考え方を結びつけることを特徴とし、堅固なキリスト教信仰を確立する上で必要な基本的な知識を学ぶことを目的としています。教える任に選んでくださった主の御心に十分応えられるよう、忠実にかつ精魂込めて講義に献身していく所存です。



研究科 中城 昭治

2011年度後期、中島總一郎先生の「聖書の知恵に聴く―新約メッセーシの探求」を受講する機会が与えられました。

この授業は、各講座のテーマと聖書箇所が決まっています。授業の始めにそのテーマ毎に、担当の受講生が、約15分位にまとめた内容をメッセーシ形式で発表してから、さらに詳細にわたり先生の講義が始まります。

それは、その聖書箇所時代の環境を始め、文脈、言葉の意味、背景、

それに関する関連聖句など、そこで語られている御言葉の真理を深く掘り下げた講義は、大きな恵みとなりました。時には、論議を交えての講義は、さらに、御言葉の真理の奥深さへと導かれ、聖書のいろいろな箇所にも多くの新しい発見をしました。

その学びによって、より神の偉大さを知り、神との約束を理解し、救いの恵みに与ることを改めて理解し、主の導きによって、御旨に相応しい生き方を理解出来ることを知る幸いな時でした。

ヨハネの福音書一章一節に、「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」と、語られているように、この御言葉の、「ことば」は、神であったとはつきりと語られているように、神によって造られた人は、御言葉によって、神のご意志、御旨を知り、御言葉を信じることで神に連なる幸いを得られるのであると教えられました。

OBI会計報告 (2011年3月～2012年2月)

いつも多くの方よりご協力いただき
ありがとうございました。

2011年度OBI・会計報告 (2011年3月～2012年2月) (単位千円)

当期収入	金額
授業料収入	6,561
助成金収入	3,000
献金収入	12,402
その他収入	67
収入計	22,030
当期支出	金額
学事支出	7,858
行事支出	608
経費支出	15,104
その他支出	452
支出計	24,022
当期収支残	-1,992

加茂 康一	川端 安弘	田畑 勝敏	玉松 陽子	尾原 光彦	金本 悟	高野 富男	田中 恵子	小澤 ナオミ	小野沢 恵子	須子 都	世良田 湧侍	上田 留美子	梅沢 近子	菅井 裕子	須子 信行	稲垣 緋紗子	植木 朋子	嶋本 洋子	庄司 満喜子	石井 由紀	石塚 幸子	汐澤 美紀	篠田 一志	生田 今日子	石井 江理子	佐藤 敬	佐野 盾一	猪狩 多佳子	猪狩 友行	齊藤 礎貴子	永澤 良子	飯島 多稼夫	飯島 延浩	近藤 はるみ	斉藤 とし子	安藤 良一	安藤 谷子	黒沢 すぎの	倉沢 薫代	有田 美榮子	有田 貞一	倉内 一壽	倉沢 節子	阿久津 千枝子	阿部 幸平	国松 裕子	窪井 節子	鬼京 由起子 <td>木下 順子<td>国東 恵子<td>北原 重信</td></td></td>	木下 順子 <td>国東 恵子<td>北原 重信</td></td>	国東 恵子 <td>北原 重信</td>	北原 重信
-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	--------	--------	------	--------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	--------	-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	---------	-------	-------	-------	---	------------------------------------	----------------------	-------

土井 貴代	中島 総一郎	浪井 弘子	西 満	山口 修八	芳賀 功	萩原 滋	原 正子	日名 富子	福井 誠	藤原 智子	堀 肇	北城 みどり	町田 恵子	増尾 善文	町田 恵子	松本 逸子	黛 藤夫	三浦 喜代子	三友 庸子	宮内 芳枝	村上 宣道	目崎 由起子	森 登	森本 馥	門馬 正衛	山口 松子	山本 しづか	山本 潤	横田 孝子	吉村 留美子	米田 由起子	脇坂 勇	中山キリスト教会	小平聖書キリスト教会	市川北バプテスト教会	クリスチャンペンクラブ	日本同盟基督教団・古河教会	練馬神の教会	ホサナ・キリスト教会
-------	--------	-------	-----	-------	------	------	------	-------	------	-------	-----	--------	-------	-------	-------	-------	------	--------	-------	-------	-------	--------	-----	------	-------	-------	--------	------	-------	--------	--------	------	----------	------------	------------	-------------	---------------	--------	------------

後援会から

後援会会長 三浦喜代子

頌主。皆様にはいつもOBI後援会を祈り支えてくださり厚くお礼申し上げます。長期間に渡ってご支援いただいた飯島財団食品科学振興財団の助成金が昨年度で終了しましたので、OBI経済は今年から新しい局面を迎えることとなります。なお、山崎製パン(株)からは今年もすでに貴いご支援を賜りました。しかしながら高齢化や世界的な経済の停滞、その他諸般の情勢により厳しい運営を迫られています。後援会の支援は今後さらに重要性を増していきます。その中で、年々卒業生が支援者の輪に加えられていくことは感謝の限りです。卒業生や諸教会、諸団体の支援が今後ますます拡大するとともに、特別に大きな志を与えられた方々が起こされますよう皆様方の厚いご支援ご加禱をお願いいたします。なおご質問等ございましたら、お声をかけてください。